ウェブ版はこちら。データとレーティングはウェブ版の最新版を正とする
alphascope.cc/ja/reports/us-weekly-2026-w44

米国株週報 · 2026年第44週（10/26〜10/30）

ナスダック100は2.0%下落、均等加重S&P500は0.8%上昇 **下落は大型テック株とソフトウェア株に集中し、多くの業種は上昇、FRBは10対2で金利を据え置いた**

今週のS&P500は0.57%、ナスダック100は1.98%下落した一方、均等加重S&P500は0.82%、ラッセル2000は1.29%上昇し、11業種のうち9業種が上昇した。下落は木曜と金曜に集中した。アルファベットが木曜に12.6%、インテルが金曜に28.6%下落し、S&P500は金曜に1.82%下落と6月5日以来の大きさとなった。FRBは水曜に誘導目標レンジを3.75〜4.00%に据え置き、2人が利上げを主張した。米10年債利回りは金曜に4.93%程度で終えた。

S&P500	ナスダック100	ラッセル2000	米10年債	VIX 指数
-0.6%	-2.0%	+1.3%	4.98%	19.42
終値 7,580.07	終値 28,384.85	終値 2,811.84	-2bp	週間 -0.03

WTI 原油
+0.8%
終値 104.12

01

今週の要点

アルファベットとインテルが決算後に急落、AI投資の回収と業績見通しが焦点に

アルファベットの7〜9月期の1株利益は2.12ドルと市場予想の約3.0ドルを下回り、設備投資は514億ドル、フリーキャッシュフローは91億ドルのマイナスとなった（CGTN）。A株は木曜に12.6%、週間で12.61%下落し、大型テック株で最大の下げとなった。

インテルは金曜に28.6%安の65.76ドルで引け、週間では24.38%下落した。10〜12月期の売上高見通しは150億〜160億ドル、調整後1株利益は0.25ドルで、LSEG集計の市場予想171億ドル、0.43ドルを下回った。見通しにはイスラエル工場の爆発による2四半期で約6億ドルの減収が含まれる。CFOはPC需要の減速が少なくとも来年上半期まで続くとの

見方を示した（CNBC）。同日、クアルコムは11.1%、ブロードコムは5.5%、エヌビディアは4.2%下落した。

アマゾンは7〜9月期の売上高と利益がともに予想を下回り、2026年の設備投資計画2200億ドルを維持した。フリーキャッシュフローは2四半期連続のマイナスで、株価は週間で3.08%下落した。CNBCによると、アマゾン、アルファベット、メタのいずれもフリーキャッシュフローがマイナスであった（CNBC）。ソフトウェア株も軟調で、サービスナウは決算後の木曜に26.9%下落し、ソフトウェアETF（IGV）は週間で5.70%下落した。

指数は下落したが市場の広がりは改善、ヘルスケア、素材、公益が上昇を主導

均等加重S&P500は時価総額加重指数を1.39ポイント上回った。ラッセル1000バリューは0.48%上昇、グロースは1.67%下落した。業種別では通信サービスが5.32%、テクノロジーが2.03%下落し、残る9業種はすべて上昇した。ヘルスケアは3.12%、素材は2.79%、公益は2.04%の上昇である。一般消費財は2.02%上昇し、テスラの7.41%高が主な押し上げ要因とみられる（推測）。

S&P500は7580.07で引け、10月6日に付けた最高値7818.93を3.05%下回る水準となった（Portfolio Terminal）。ナスダック総合は3週続落し、10月の下落率は5.3%に達した。FactSetはS&P500の7〜9月期増益率を約30%と見込むが、予想上振れ幅は1.4%にとどまり、過去5年平均の7.5%を大きく下回る（CNBC）。上振れ幅の縮小により、高バリュエーションのテック株は見通しに敏感になっているとみられる（推測）。

FRBは据え置き、2人が利上げを主張、短期の米国債利回りは低下

FOMCは10月28日、10対2で誘導目標レンジを3.75〜4.00%に据え置いた。クック理事とハマック・クリーブランド連銀総裁は0.25ポイントの利上げを主張した。声明は経済活動が力強いペースで拡大し、インフレは高止まりしているとした（FRB）。ウォーシュ議長は危機時を除きフォワードガイダンスを支持しないと述べ、2027年に金融政策戦略に特化した会合を1回設けると発表した（CNBC）。

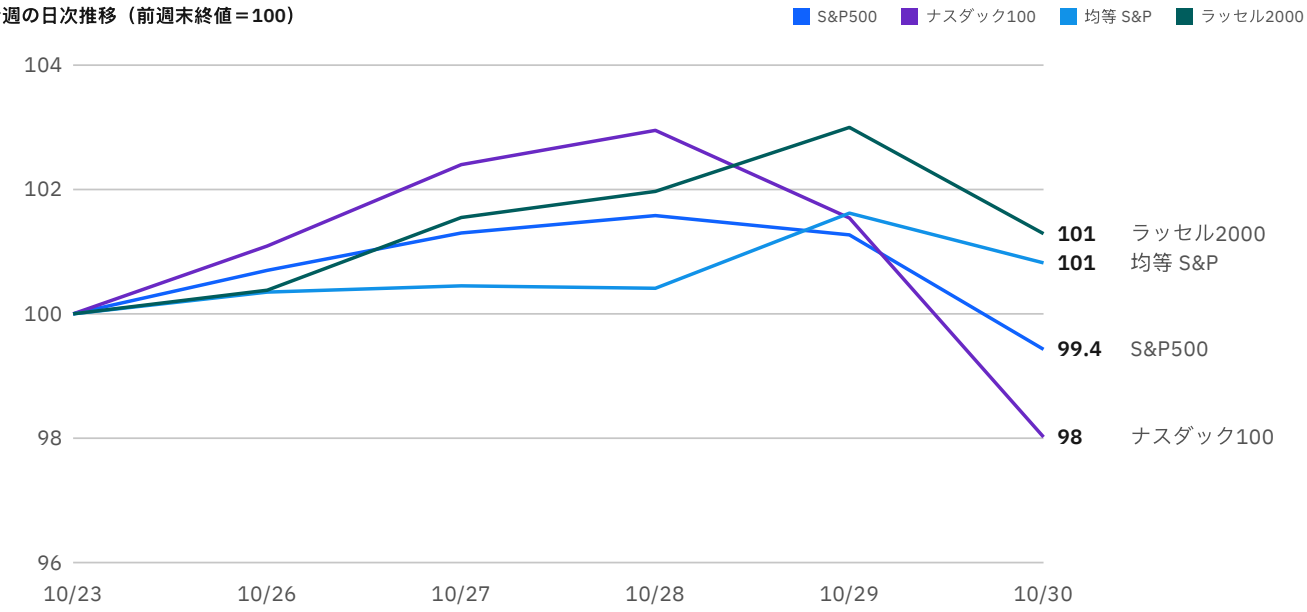
木曜発表の7〜9月期実質GDPは年率3.4%増（4〜6月期は2.2%増）、9月のPCE物価指数は前年同月比3.6%上昇、コアPCEは3.1%上昇であった（USAGOLD、CNBC）。会合後のCME FedWatchが示す12月利上げの確率は8割程度である。金曜は株安を受けた逃避需要から、10年債利回りは4.93%程度、2年債利回りは4.59%程度に低下した。

> 今週の調整は設備投資と業績見通しが期待に届かなかった企業に集中し、他の業種の多くは上昇した。金利市場は引き続き12月の利上げを織り込んでいる。

02

市場動向

今週の日次推移（前週末終値＝100）



11セクターの週間騰落（SPDR セクター ETF）

ヘルスケア +3.1% 年初来 +20.9%	素材 +2.8% 年初来 +17.8%	公益事業 +2.0% 年初来 +3.9%	一般消費財 +2.0% 年初来 -2.8%	資本財 +1.7% 年初来 +8.8%	不動産 +1.4% 年初来 +9.6%
生活必需品 +1.3% 年初来 +17.3%	金融 +1.1% 年初来 +4.4%	エネルギー +1.0% 年初来 +59.7%	情報技術 -2.0% 年初来 +25.1%	コミュニケーション -5.3% 年初来 -14.4%	

スタイル・テーマ別騰落

バリュー（ラッセル1000バリュー） +0.5% 年初来 +24.3%	低ボラティリティ -0.0% 年初来 +10.5%	クオリティ -0.1% 年初来 +12.7%	半導体 -0.9% 年初来 +45.1%	グロース（ラッセル1000グロース） -1.7% 年初来 -0.3%	モメンタム -1.8% 年初来 +14.0%
ソフトウェア -5.7% 年初来 -1.3%					

大型テック株	週間	1カ月	年初来	終値
テスラ	+7.4%	+12.7%	-11.1%	$399.81
ブロードコム	+1.4%	-7.1%	-5.3%	$326.08
マイクロソフト	-0.5%	+1.8%	+8.6%	$521.91
アップル	-0.9%	+3.5%	+27.1%	$344.63
エヌビディア	-3.0%	-10.4%	+10.0%	$204.64
アマゾン	-3.1%	-3.5%	+4.1%	$240.35
メタ	-4.3%	-15.2%	-6.6%	$614.99
アルファベット	-12.6%	-18.7%	-10.4%	$279.84

指数：S&P500は月曜から水曜まで続伸し、水曜に7743.98で引けた後、木曜と金曜の2日間で累計2.1%下落した。ダウ平均は0.85%、ナスダック総合は2.00%下落した。

スタイル：バリューがグロースを2.15ポイント上回った。モメンタムは1.85%下落、ソフトウェアは5.70%下落、低ボラティリティは小動きであった。半導体ETF（SMH）の週間

下落率は0.89%にとどまり、週前半の上昇が金曜の下げの一部を相殺した。CNBCによるとSOXXは金曜に2.1%下落した。

大型テック株：テスラ（+7.41%）とブロードコム（+1.37%）が上昇した。マイクロソフト（-0.50%）とアップル（-0.89%）は小幅安、エヌビディア（-3.00%）、アマゾン（-3.08%）、メタ（-4.30%）は下げが大きく、アルファベット（-12.61%）が最大の下落となった。

03

金利・クレジット市場

指標	週末値	週間変化	年初来
米2年債	4.61%	-8bp	+114bp
米10年債	4.98%	-2bp	+80bp
米30年債	5.32%	-1bp	+48bp
10年-2年スプレッド	0.38%	+7bp	-33bp
10年実質金利（TIPS）	2.63%	-3bp	+70bp
10年ブレークイーブン・インフレ率	2.34%	+0bp	+9bp
ハイイールド債スプレッド	3.26%	-12bp	+45bp
投資適格債スプレッド	0.89%	-2bp	+10bp
FF 実効金利	3.88%	+0bp	+24bp

出典：FRED（セントルイス連銀）、今週データのある最終取引日。スプレッドはオプション調整後（ICE BofA）。

VIX 指数
19.42
週間 -0.03

MOVE 米国債ボラティリティ
100.20
週間 -3.11

ドル指数
101.88
週間 +0.07

米国債：木曜時点（FRED）で2年債利回りは8bp低下の4.61%、10年債は2bp低下の4.98%、30年債は1bp低下の5.32%となり、イールドカーブはスティープ化した。10年と2年の利回り差（金曜時点）は7bp拡大の38bpである。10年実質金利は3bp低下の2.63%、ブレークイーブンは2.34%で変わらずであった。金曜の10年債利回りは4.93%程度までさらに低下した（CNBC）。

クレジット・ボラティリティ：木曜時点でハイイールド債スプレッドは12bp縮小の3.26%、投資適格債スプレッドは2bp縮小の0.89%で、金曜の株安は反映していない。VIXは19.42と前週からほぼ変わらず、MOVE指数は3.11ポイント低下の100.2であった。実効FF金利は3.88%である。

04

クロスアセット動向

資産	直近	週間	年初来
天然ガス	2.90	+9.8%	-21.4%
ユーロ・ストックス50	6,131.31	+1.0%	+5.8%
日経平均	63,290.11	+1.0%	+25.7%
ハンセン指数	23,294.42	+0.9%	-9.1%

資産	直近	週間	年初来
ドル/円	157.80	+0.8%	+0.9%
WTI 原油	104.12	+0.8%	+81.3%
ブレント原油	117.64	+0.8%	+93.3%
ドル/人民元	6.66	-0.3%	-4.8%
銅	6.46	-0.3%	+14.7%
ユーロ/ドル	1.12	-0.3%	-4.8%
上海総合	3,599.02	-2.5%	-9.3%
金	3,898.90	-2.7%	-10.2%
ビットコイン	77,198.21	-3.5%	-11.8%
イーサリアム	2,241.05	-3.7%	-24.5%
銀	49.10	-8.6%	-30.0%

為替は表示通貨ペアの騰落率で、ドル/円の上昇はドル高を示す。原油・天然ガスは期近先物。

原油：WTIは0.82%高の104.12ドル。ブレント12月限は金曜に満期を迎え、清算値は117.64ドルと前週比0.79%高であった。1月限の清算値は113.43ドルで、両者の差は限月交代によるものであり価格変動ではない。英海事当局は金曜にホルムズ海峡でタンカーが爆発物の攻撃を受けたと報告した。OPECプラスの主要国は11月1日にオンライン会合を予定していた（FinanceFeeds）。

貴金属：金は2.72%安の3898.90ドル、銀は8.59%安の49.10ドルと50ドルを割り込んだ（QNC News）。金利見通しの上昇が主な重荷とみられる（推測）。

その他：天然ガスの期近つなぎは9.77%高の2.90ドルで、限月交代の影響を含む可能性がある（推測）。ビットコインは3.53%、イーサリアムは3.69%下落した。ドル指数は101.88で変わらず。ユーロ・ストックス50は1.04%高、日経平均は0.95%高、ハンセン指数は0.87%高、上海総合指数は2.48%安であった。

05

カバレッジ銘柄

ティッカー	当社レーティング	週間	対 S&P	年初来
INTC	買い	-24.4%	-23.8%	+78.2%
000660.KS	中立	+11.0%	+11.6%	+118.3%
AMZN	買い	-3.1%	-2.5%	+4.1%
NVDA	買い	-3.0%	-2.4%	+10.0%
8031.T	中立	+1.3%	+1.9%	+10.4%
MSFT	中立	-0.5%	+0.1%	+8.6%
MCD	買い	+3.9%	+4.5%	-13.9%
KO	買い	+1.5%	+2.0%	+37.2%
TSLA	買い	+7.4%	+8.0%	-11.1%
AAPL	買い	-0.9%	-0.3%	+27.1%

インテルのレーティングは買いである。株価時点は10月29日であり、同日引け後に公表された7〜9月期決算と10〜12月期見通しより前のため、金曜の下落は反映していない。SKハイニックスは中立で、週間11.04%上昇した。テスラ、マクドナルド、コカ・コーラは上昇し、アマゾン、エヌビディアは3%程度下落した。

06

来週の注目材料

日付	イベント	注目点
11/2	アップル、パランティア決算	アップルの1株利益の市場予想は約1.99ドルで、株価は年初来28%高である。
11/2	10月ISM製造業景況指数	前回は54.5、価格指数は77.9である。価格指数はエネルギーコストの製造業へ
11/3	米中間選挙、AMD・アリスタなどの決算	結果は上下両院の支配に影響する。AMDの1株利益の市場予想は約1.94ドルで
11/4	10月ISM非製造業景況指数、クアルコム・アーム・ウーバー決算	前回は54.9、価格指数は74.0、雇用指数は50.1である。クアルコムは金曜に1
11/6	10月米雇用統計	市場予想は雇用者数5.5万人増、失業率4.2%で横ばい。9月は2.9万人増であっ

決算	日付	時間帯	EPS 予想
Palantir Technologies Inc. (PLTR)	11/2	引け後	0.41
Apple Inc. (AAPL)	11/2	引け後	1.99
Keurig Dr Pepper Inc. (KDP)	11/3	寄り付き前	0.62
Shopify Inc. (SHOP)	11/3	寄り付き前	0.46
Pfizer Inc. (PFE)	11/3	寄り付き前	0.73
Advanced Micro Devices, Inc. (AMD)	11/3	引け後	1.94
Itaú Unibanco Holding S.A. (ITUB)	11/3	–	0.22
Uber Technologies, Inc. (UBER)	11/4	寄り付き前	0.90
Novo Nordisk A/S (NVO)	11/4	寄り付き前	4.62
QUALCOMM Incorporated (QCOM)	11/4	引け後	2.16
Arm Holdings plc (ARM)	11/4	引け後	0.48
Coherent Corp. (COHR)	11/4	引け後	1.97
Microchip Technology Incorporated (MCHP)	11/5	引け後	0.94
Monster Beverage Corporation (MNST)	11/5	引け後	0.30

時価総額300億ドル超の企業。yfinance の決算カレンダーより。日程は会社発表が優先。

07

データの定義と出典

週間騰落率 = 今週最終取引日の終値 ÷ 前週最終取引日の終値 − 1（2026-10-26〜2026-10-30）。指数と ETF は調整後終値。

株価・為替・商品・暗号資産・カレンダーは Yahoo!ファイナンス（遅延あり）。米国債利回り、実質金利、期待インフレ率、信用スプレッド、FF 金利は FRED。

セクターは SPDR セクター ETF、スタイルは iShares ラッセル1000 グロース/バリュー、MTUM、QUAL、USMV、テーマは SMH（半導体）とIGV（ソフトウェア）。

CNBC：アマゾンとインテルの決算後（10月30日）、CNBC：来週の見通し（10月30日）、CGTN：米テック決算（10月29〜30日の相場を記述）、FOMC声明（10月28日）、CNBC：FOMC（10月28日）、CNBC：米国債利回り（10月30日）、USAGOLD日報（10月29日）、FinanceFeeds：ブレント原油、QNC News：銀と金、Portfolio Terminal：10月30日終値。FREDの米国債利回りとクレジットスプレッドは10月29日時点である。ブレントのつなぎ足は金曜時点で満期を迎えた12月限である。

本週報は公開市場データに基づくリサーチ資料であり、一般の読者を対象としている。個人の財務状況を考慮したものではなく、投資助言を構成するものではない。データには遅延があり、原資料の数値が優先される。

AlphaScope · alphascope.cc/ja/reports/us-weekly-2026-w44 · 2026-11-02 作成

財務データは SEC EDGAR の原資料に基づく。株価データには遅延があり、出典は各レポートに記載している。

レーティングはすべての読者を対象とするリサーチ上の見解であり、特定の個人に対する売買の推奨ではない。投資にはリスクが伴う。投資判断は読者自身の責任において行われたい。